

2026年(令和8年)度 沖英寮便り4月

転載禁止

記事責任者 寮監 儀間清浩

寮生集会4月（新入寮生歓迎会、避難訓練など）をもちました

寮監の言葉です

新年度が始まりました。東京での新たな生活に緊張感を持ちながら大学生活を楽しみましょう。大学の卒業のみではなく職業に就くことも目標としましょう。「出る杭は打たれる!」。人の上に立つことは人生においていつかは経験することであり、進んで地位の高いところを目指しましょう。すると多くは様々な場面でたたかれることが出てきます。そこで「様々な批評を受け留め、生かして、**信頼される出る杭になりましょう!**」。沖英寮に来たからには社会において信頼される指導者を目指しましょう。

避難訓練

4月には避難訓練を行っています。今回は各自部屋から避難する方法で食堂へ集合し、寮監より火災の元となるヒーター、アイロン、オーブントースターなどへの注意、消火器の使用方法、心得を話しました。



新規入寮生歓迎会

7人のメンバーが加わり、寮生委員会は20人となりました。先輩も含め全員で自己紹介、プレゼント、記念撮影をしました。以下に、新規入寮生のコメントを紹介します。

沖英寮では同じ沖縄出身の同級生や先輩方がいてとても安心して学生生活を送ることができています。今後は勉強やサークルを両立しながら東京でしかできないことを沢山挑戦していきたいです。

M.R.東洋大学(首里高校)



沖英寮から約一時間かけて文京区の大学に通っています。自由と自律のもとで大学内外で新しいことにたくさんチャレンジできる生活は大変でもあり楽しくもあります。社会人になる前に大学生としてここでしかできないことをできていることに感謝したいです。沖英寮では、先輩が大学生活やバイトのことなど優しく教えてくださり、同郷の同級生の仲間にも恵まれ、安心して過ごすことができます。F.F.お茶の水女子大学(昭和薬科付属高校)

この寮に来る前はずっと「そもそも寮生活に慣れることできるかな」と思っていたがとても安心出来る住みやすい環境でした。大学ではコツコツと、でも楽しんで、バイトで社会を学び、充実した生活を過ごしていきたいと思っています。M.S.女子美術大学(宮古高校)

沖英寮に来てよかったことは、食事が整っていて栄養バランスが取れることや、地元の仲間がいて安心して過ごせることです。また、地域や沖縄県からのお知らせなども確認し、大学でまちづくりを学んでいるため、地域活性化につながるボランティアなどに積極的に参加したいと考えています。S.M.國學院大學(首里高校)

ここでは、自分と同じ沖縄出身の人と話すことができるので、寂しさを感じることもなく、のびのびと過ごせています。これからは様々な場所に行ったり、沖縄ではできないようなことを体験していけたらと思っています。K.N.駒沢大学(知念高校)

沖英寮にきて、東京での生活の不安もすぐなくなりました。

駅も近くて大学にも行きやすく、ご飯もちゃんと出るので安心して過ごせます。

N.K.津田塾大学(沖縄尚学)

沖英寮に来てみて、さまざまな大学の方達と関わる事ができまし、みんな沖縄出身なので上京しても沖縄を感じることができました。また、寮に帰ってきて、食事室でみんなで話したりテレビを見たりして楽しいです。今後頑張りたいことは、TOEICの点数を上げたいです。そのために、英語の勉強を頑張りたいと思います。また、さまざまなことに挑戦してみたいです。自分がやりたいと思ったことを挑戦してみて、後悔しないように頑張っていきたいです。Y.K. 明治大学(首里高校)



快挙!!!



2026年 4月6日～10日に開催された模擬国連会議全米大会に、本寮の学生 讀谷山藍子 が日本代表団として参加し、団体として大会1位に相当する最優秀大使団賞(Outstanding Delegation Award)を、個人として優秀大使賞(Peer Award)、Outstanding Position Paper賞を受賞しました。

大会準備期間では理想と現実のギャップに苦しむこともありましたが、自分と向き合い、取り組み続ける忍耐力を養えたと思います。また、完璧な英語力以上に、speak upし、誠実にコミュニケーションを取ろうとする勇気や姿勢こそが大切なのだと実感しました。団体・個人ともに結果を残せたことは大きな達成感となり、支えてくださった方々への感謝もより強まりました。この経験を無駄にせず、次の運営代や自身のキャリアにも生かしていきたいです。

